

第22回 明治大学小史展

大正時代の学園

会期 2007年5月22日(火) ～ 2007年9月28日(金)

会場 駿河台キャンパス・大学会館1階ロビー

主幹 明治大学史資料センター事務室

今回は、大正時代の本学園を当センター所蔵の資料から紹介します。

大正時代は、創立者のひとりであり、校長として長く学園をリードした岸本辰雄先生の逝去と、創立30周年を記念して建てられた初代の記念館の焼失で幕を開けました。

しかし一方で、学園が大きく飛躍・発展した時代でもありました。例えば今まで帝国大学にしか認められていなかった「大学」に昇格しました。また、商学部や政治経済学部が設置され、学園の教育・研究の面が充実する一方で、スポーツ系のサークル活動も活発になりました。今日でも人気のある東京六大学野球リーグの創立、箱根駅伝の開催、ラグビー明早戦の開始は、いずれもこの時代でした。

ただ、大正12(1923)年の関東大震災は、復興した2代目の記念館を含め、学園に壊滅的な被害を与えました。

なお、お問合せは大学史資料センター事務室までお願いします。

In the start of Taisho Era, Meiji University lost the First Memorial hall and the founder KISHIMOTO, Tatsuo died. Moreover, The Meiji University received catastrophic damage due to The Great Kanto Earthquake.

However, faculty of Commerce and faculty of Political Science and economics were founded. Sporting activities became active, too. For example, Tokyo big6 baseball league, Hakone-Ekiden, and regular match of rugby Meiji vs Waseda were begun.

展示資料リスト

展示資料の解説です。敬称は省略しています。

I 創立者・岸本辰雄先生の死と初代記念館の焼失

1 岸本辰雄先生肖像（明治末期）

2 岸本辰雄先生訃報記事（1912・明治45年）

岸本先生は、1912（明治45）年4月、出勤途中の電車内で倒れました。記事にあるように、先生の死は大きく報道されました。

3 初代記念館（1911・明治44年）

創立30年時に竣工した記念館です。学園の教育活動の充実、またシンボルとして期待されましたが、翌年焼失してしまいました。

II 2代目記念館の竣工と学園の充実

4 2代目記念館（1912・大正元年）

1912（明治45）年3月に焼失した初代記念の復興はいち早く進められました。同年12月、写真の2代目記念館が竣工しました。

5 指揮を執る山田耕柞

校歌の作曲者である山田耕柞が指揮を執るようすです。校歌が公示されたのは1920（大正9）年です。

6 児玉花外肖像

校歌の作詞者である児玉花外の肖像です。若き日の児玉は社会主義詩人として著名でした。

7 雄弁会の活動のようす

いわゆる大正デモクラシー期、学生たちは社会問題や政治問題に対して、きわめて高い意識を持っていました。雄弁会の活動をとおして、主張や議論が活発にたたかわされました。

8 運動会記念絵葉書（1916・大正7年）

明治大学陸上大運動会の際の仮装行列のようすが印刷された絵葉書です。

9 明治大学設立認可（コピー）『明治大学学報』第44号（1920・大正9年）

1920（大正9）年4月15日、明治大学は大学令に基づいた「大学」に昇格しました。この時、法学部と商学部が設置されました。

10 政治経済学部を設置（1924・大正14年）

大学昇格時、政治経済学部の設置は見送られていました。しかし、政治経済学部をのぞむ声は大きく、ついに1924（大正14）年3月に設置認可申請され（資料、左）、同年7月に認可されました（資料、中央）。11月21日には設立祝賀会も挙行されています（資料、右）。

11 スポーツ活動の充実

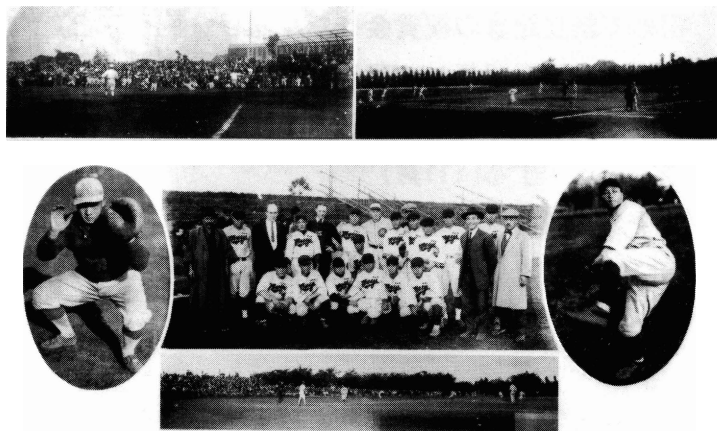
大正時代は、体育会系のクラブの設立がさかんな時期でもありました。資料は、1925（大正14）年の卒業アルバムの中の1ページです。

12 内海弘蔵テキスト

東京六大学野球連盟の結成に尽力した内海弘蔵は、文科（文学部の前身）や予科の教員として教鞭をとりました。

13 第1回箱根駅伝記事（1920・大正9年）

第1回の箱根駅伝は、明治、慶応、早稲田、東京高等師範の4校で行われ、明治は2位でした。



野球部（1923年度商学部卒業アルバムより）

III 関東大震災

14 関東大震災記事（コピー）『明治大学学報』第84号（1923・大正12年）

1923（大正12）年9月1日の関東大震災は、一瞬にして東京を瓦礫の山としてしまいました。明治大学も例外ではありませんでした。大学の施設は、文字どおり未曾有の大被害を受けました。

15 震災後の復興活動（コピー）『明治大学学報』第84号（1923・大正12年）

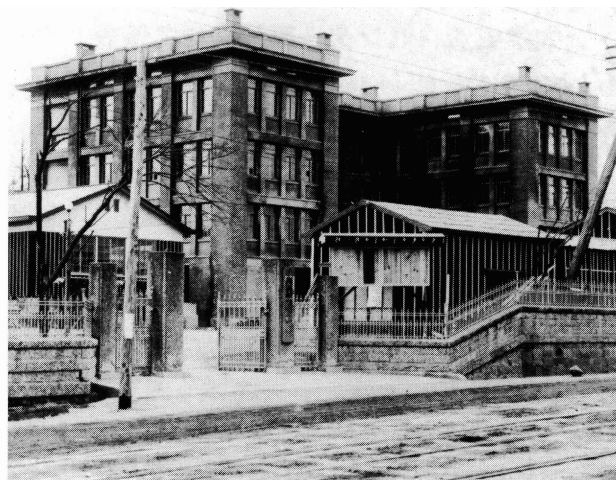
資料から、震災後の復興に向けた学生の活動のようすがうかがわれます。

16 震災跡整理作業のようす

震災後の大学焼け跡の整理にあたった学生たちです。在京の学生たちは震災後1週間後には自主的に集まり、復旧活動をおこないました。

17 3代目記念館（1928・昭和3年）

学生・校友・教職員の尽力により、学園は着実に復興しますが、1928（昭和3）年に竣工した3代目記念館は、まさにその象徴でした。



震災後の仮校舎（1924・大正13年）

「大正時代の学園」略年表

- 1912（明治45・大正元）年 初代記念館が焼失する（3月）
岸本辰雄先生が逝去する（4月）
明治中学校が設立される（4月）
- 1916（大正5）年 それまで借地であった駿河台キャンパスの敷地（現在、リバティタワーと研究棟が建つ場所）を購入する（9月）
- 1918（大正7）年 初めて創立記念の祝賀会をおこなう（1月17日）
- 1920（大正9）年 第1回「箱根駅伝」が開催される（1月）
明治「大学」が認可される（4月）
校歌を公示する（11月）
- 1923（大正12）年 関東大震災で壊滅的な被害を受ける（9月）
初めての明早ラグビー戦がおこなわれる（12月）
- 1924（大正13）年 仮校舎が竣工する（1月）
- 1925（大正14）年 政治経済学部が認可される（7月）
東京六大学野球連盟が結成される（9月）

明治大学史資料センターからのお知らせ

☆最新刊行物のご案内

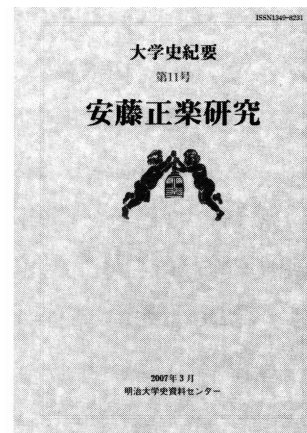
『大学史紀要』第11号

「安藤正楽研究」 800円

大学史資料センター事務室報告28集

「大学史活動」 500円

大学史資料センター事務室にて販売
しております。



安藤正楽研究

〔編集・発行〕 明治大学史資料センター事務室

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1

電話 03-3296-4329 FAX 03-3296-4086

URL <http://www.meiji.ac.jp/history/>

〔発行日〕 2007年5月22日

〔印刷〕 二葉印刷有限会社